

The word "Thai" is written in large, blue, stylized letters. To the left of the letter 'T' is the flag of Thailand (red, white, and blue horizontal stripes). To the right of the letter 'i' is the flag of Japan (white with a red circle). The background is a blurred image of a park with trees and a building.

日本語パートナーズタイ7期  
バンコク サイナムプーン校  
大久保 陽子

## 【タンブンとカオパンサーの日】

Sawat dii kha サワッ(ト)ディーカ

タイ語のあいさつの言葉です。この言葉一つでおはようございます・こんにちは・こんばんは・さようならとしてつかうことができます。とても便利な言葉です。

タイ語は発音が難しいのですが、あいさつはコミュニケーションの第一歩、気にせずあいさつしています。今回はタンブンとろうそくの奉納についてです。

タイは仏教の国です。それに伴いいろいろな行事があります。学校でもそのたびにイベント的な行事が行われています。学校では月に一度くらいの割合でお寺からお坊さんが5人ほど見えます。その時は、前日にお知らせがあり、生徒も先生もタンブンの品を用意します。タンブンとは何？と思いますよね、タンブンとは徳を積むことです。徳を積むとは？具体的には、お寺に寄進したり、托鉢する僧侶に食べ物や生活用品を喜捨したり、恵まれない人を援助することです。そうした善い行いを積んでいくことが徳を積むことらしいです。お店にはタンブンセットというものが、大体あります。値段は50バーツから500バーツ以上のものもあります。いろいろです。チョコレートだけでも大丈夫です。



写真1 タンブンセットです



写真2 タンブンの品を各自のテーブルに並べます



写真3 ↑

お坊さんは一人一人各テーブルを順番に回り品物を鉢の中に入れる。入れたそばから男性の先生が生徒の持っているビニール袋に入れていく。お坊さんは女性に触れてはいけないので、女子高である派遣校は細心の注意が必要。



写真4 ↑

カオパンサーの日は先生方は白の制服でお坊さんを迎えます。

ろうそくの奉納（カオパンサー）ですが、写真5はわかりづらいと思いますが、溶かしたろうを大きな筒に入れて、大きいろうそくを作っているところです。そして出来上がったのが写真6の大きなろうそくです。これは、カオパンサー（入安日7月中旬）といってこの日からオーク・パンサー（出安居）までの約3ヵ月間、お坊さんがお寺にこもって修行されます。その時使うろうそくを奉納するのだそうです。



こちらが筒

写真5 大きい筒に溶かしたろうを入れていきます



写真6 写真4で作ったろうそくに装飾してお寺に納めます。